

# 南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと [soiga01@gmail.com](mailto:soiga01@gmail.com)、  
新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

**今朝の地震、まじびびった(;´Д`)** 人との繋がりを大切にしたいと願うブログ(2012.7.11 変更) そろそろブログ復活で～す、(￣▽￣)ノ  
2012/8/30(木) 午前 9:19

[http://blogs.yahoo.co.jp/pure\\_mamotec/39359467.html](http://blogs.yahoo.co.jp/pure_mamotec/39359467.html)

久々に突き上げるような地震。

それも我が家の地域は震度5!!

揺れてる時間が短かったから良いようなものの、あんなのが1分くらい続いたら昨年(2011)の4月7日状態になるところだった。

被害はコップが一つ割れたのと、壁掛け時計が落下したのと、

水槽の水が3cmくらいこぼれたくらい。

あ、そうそう。

縦揺れの時って、水槽見ればすぐわかるんですよ。

水のこぼれ方も違うし、波の立ち方も違う。

洗面器にお湯を入れて揺らした状態が横揺れ。

洗面器にお湯を入れて縁を叩いた状態が縦揺れ。

今の日本で『ここが安全』ってところは無いので、しっかりと危機管理を自分たちでしましょう(\*´▽`\*)

#####

**南相馬市から8月30日夜** サイヤ社長のブログ  
福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営  
営しています。新鮮な話題をお届け! 2012-08-30 20:13:36  
<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/7cbe17141b4180b57638320cac84efd4>

## 『零戦』

連合軍から「ゼロ・ファイター」とも言われていたようです。登場時は性能差で圧倒的な強さで勝利を収めた日本が誇る名戦闘機だったと聞いています。最近読んでいる本から、少し日本人の本質というか先祖伝来持っている日本人のおかしな感覚?があるのではないかとすることがあります。それは、ゼロ戦がなぜ他の戦闘機より優秀だったのか、確かに日本人特有の真面目な頑張りでの特訓練習で優秀なパイロットを養成していたことも原因ですが、実は飛行機作りに日本人特有の精神というかなんだろう西洋人にはこういう発想はないところでの飛行機作りにありました。それは「空戦能力を極限まで追求した戦闘機」だったということです。

言い換えれば、軽くする無駄なものは無くす、しかしそれは防弾性を無くすということです、人の命を軽視しているということです。それに引き替えアメリカ軍の考え方は空戦性能は諦めて、スピードと防弾性、重武装

その為には馬力のあるエンジンの開発、丈夫な機体、当たらなくても撃墜できる火器兵器などの開発が重視、そこからわかることは、人の能力に頼るが人の命を軽視する日本、いちばん初めに人の命のことを考えて重視して兵器の開発をするアメリカ、なんだろうこの違いは?地震国日本、津波で多くの人が亡くなり原発災害で多くの人がふるさとを追われ避難している現実、今この時代にもまた、人の忍耐力に頼り人の命を軽視する日本政府、いつの時代になっても変わらないのは日本人独特のものなのかなと、本を読んでいて感じています。ちなみに読んでいる本は「失敗の本質」という本です。面白いですよ。勉強になります。

## 南相馬市から8月31日今朝

2012-08-31 05:30:23

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/9796e647095bf2110d761109b7e8daed>

## 『月末』

早い、早すぎる、時間が経つのがあまりにも早く感じています。時間は皆平等なのに、早く過ぎていく時間の感覚がこれでもいいのかな?と時々思うことがあります。仕入れて、販売して、支払って、商売としてはこの繰り返しです。今月も何とか支払いが出来そうです。

昨日、原町の私の師匠との話で、その方もお孫さんが避難しているの、帰って来る見込みがあるのか、ないのか聞きましたが、今のところまだ帰ってこないようです。すごく遠いところ「四国」に避難中です。息子さんだけ南相馬市に残って仕事しています。問題は放射能の線量なのですが、せめて0、2マ

イクロシーベルトぐらいになればと考えているようです。問題は今現在、常に今まで浴びたことのない放射能を浴びていてそれがいつ、どのような影響が身体に出てくるのかが、分からないことが問題だと言っていました、ましてや小さな子供の影響は大人より大きいはずだと、最近の新聞にある学者さんが(なんやら学会の会長さんらしいですが)つい本音で福島の若者とは結婚しない方が良く、言うようなことを言ったようです、後で訂正?したようですが、偉い学者先生がそう言ったことをいう人もいれば、大丈夫だ(年間20ミリシーベルトでも)という学者さんもいる、誰を、どのことを信じればいいのか?矛盾だらけの放射能の情報だから、とりあえず避難させて置くしかないとも考えているようです。難しいですね。正しい知識で正しく怖がる?その正しい知識はどこから得るのか?だれの言うことが正しいのか?放射線、低ければ低い方が良いのは誰にもわかりますが、無い方が良いのはわかりますが、今、ある以上、そこでどうなるのかがいちばん知りたいことですが、そして住んで、生活しているものにとっては、大丈夫、心配ないと本当に言ってくれる、示してくれる話を聞きたいのが本音ですが。

#####

### 流れ … 淀(よど)まない

負けてらんにはえ! みんなでなんとかすっぺ!!

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。2012-08-28 07:48:17

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/cc17cd3ffc285afd3960f88e4515f416>



遠足

万物は 常に流れています。変化しています。

その流れを意識が止めてみる  
そこに不自然が生じ 人間的(大脳的)苦悩が発生します。

われわれは 本来は  
いや 本体そのものは 止まっていません。

それを われわれの大脳が(あるいは意識が)  
止めて見るから  
大変不自然な混乱が生じているような気がするのです。

犬や牛やニワトリには  
その流れを止めて見る知能が発達していないから  
みんな たとえ人間の目には不幸に見えても  
不幸せではありません。  
その状態を「非不幸」といいます。

お金も 地位も 名声も あり余るほどあっても  
年中何かに怯えて 警戒を怠らない人もあり  
反対に 何もなくなっても  
鷹揚に暮らしている人もいます。

人は 好む方をとればよいのですが …  
私は どちらかと言うと  
… 後者を選びたいと思います。

何しろ 淀まないのが第一です。

流れは 流れているのが本姿であって  
淀んでは … 苦しみののです。

#####

今日のできごと 8月30日(木)南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ 2012-08-30 17:24:40

<http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11341652837.html>

みなさん、今日も一日お疲れ様でした～。

さて、今日は、仮設住宅のサロンにもたくさんのボランティアさんが来てくれました。

サロンでは、ボランティアさんに体操を教えてもらいました。



暑いからといって、部屋にばかりいるよりも、みんなで体を動かすといいですね。

屋外ボランティア活動は、活動場所 2件  
活動いただいた方 19人でした。  
仮設住宅支援ボランティア活動は、活動場所 8件  
活動いただいた方 17人でした。  
合計 36人 でした。



#####

### 小高区 5 校 PTA 夏祭り

どっさりんこ (2012.08.27 10:30) 相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/6152.html>

東京電力原子力発電所災害により居住が制限された南相馬市小高区のこどもたちのために小高区 5 校小中学校 PTA 連絡協議会主催で 8/25、夏祭りが鹿島区の鹿島小学校体育館で開催されました。



東京電力原子力発電所災害のために自宅での生活を送ることができなくされ学校施設と校外活動すらも限定され続けている小高中学校、小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校のこどもたちのためにヨーヨー釣り、フリースロー、射的、輪投げ、ストラックアウトなどなどや大阪の NPO 法人 雅夢 (<http://homepage2.nifty.com/npo-gamu/index-gamu.html>) の皆さんによる和太鼓演奏など  
小高区の 5 校へ、こどもたちを通わせていた親たちが中心となり開催されたこどもたちのための夏祭りです。

毎日いっしょに学び、遊んでいた友達との再開もあり  
楽しいひとときとなりました。

小高中学校、小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校のこどもたち

今日 8/26 から仮設校舎での二学期、再開です。





▲2 学期がスタート！ ▲真剣に取り組む 1 年生。

**津波注意報の発令を受け迅速に対応 南相馬市:フォトレポ南相馬** 【2012 年 8 月 31 日(金曜日)】

[http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo\\_repo/photo\\_repo\\_201208/20120831.jsp](http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo_repo/photo_repo_201208/20120831.jsp)

フィリピン東方沖地震の影響で津波注意報が発令されたのを受け、市役所には危機管理課の職員をはじめ、消防署員や警察官が集まり、情報収集に当たりました。

注意報は、津波到達時間よりも早い 9 月 1 日午前 0 時 10 分に解除されました。



▲津波注意報を伝えるニュース▲ホームページに掲載された緊急情報

#####

**新学期は仮設校舎で 南相馬市:フォトレポ南相馬** 【2012 年 8 月 27 日(月曜日)】

[http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo\\_repo/photo\\_repo\\_201208/20120827-2.jsp](http://www.city.minamisoma.lg.jp/photo_repo/photo_repo_201208/20120827-2.jsp)

小高商業高校は原町高の校庭に建設された 2 階建ての仮設校舎で 2 学期をスタートしました。

生徒は「小高の校舎には戻れませんが、自前の校舎で勉強できるのはうれしいです」と話し、新しい校舎での授業に臨みました。



▲原町高第二体育館での始業式▲商業研究大会の表彰



▲情報収集に当たる職員▲ライブカメラで海岸の様子を確認



▲校庭西側に建てられた仮設校舎▲教室に向かう生徒